

日 時：平成 27 年 1 月 26 日（月）18 時 30 分 ～20 時

場 所：広船地区構造改善センター

対象町会：広船

参加人数：16 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○市道について (市民からの要望・質問) かねてから要望している広船から町居へ抜ける道路の進捗状況は。町居側が難航しているということだが、広船側から工事を進める考えはないのか。</p> <p>(市の回答) ・平成 27 年度着工予定で進めている。地権者の問題があり時間がかかっている。工事期間は 2 年位だと思う。 ・広船側から工事を進める考えもある。狭い農道もあるので広げて平賀体育館方面へつなげる予定である。通学路なので、道路が完成すれば街路灯も必要になる。 ・県道吹上金屋線は、交通安全対策もあり、道路が少し狭いかもかもしれないが、買収費用がかからないやり方で進めている。あとは地権者の協力によるだろう。以前と比べ地価が安くなり、買収単価が下がっているので地権者の了解が得られるかは疑問である。</p> <p>(市民からの要望・質問) 仮称でも路線名はあるのか。</p> <p>(市の回答) ・新館野木和線である。</p>
<p>○嫁（婿）不足について (市民からの要望・質問) 子育て支援以前に嫁（婿）不足の問題がある。夫婦が増えて子どもが増えていかなければ人口は減少する一方である。市が率先して対策をしなければ税収も上がらないので、市も携わってほしい。</p> <p>(市の回答) ・商工会で電車 de 合コンを行ったが、来年度は別な形での出会いの場づくりを考えているようだ。広船でもカップルが成立すれば仲人が 10 万円を貰えるが、まだ例がない。 ・県外から農業をやりたい方が来て、新たな結びつきができればいいと思う。旧広船小を活用した何かの事業を行い、市外の方に来てもらい、最終的には平川市に住みたいと思ってもらえればと考えている。</p>

・農産物の地理的表示保護制度ができたので、地域のりんごをブランド化できないかと農林水産省に行った。産学官金で地域の生産者と連携をとり、ブランド化や旧広船小を活用できないかと考えている。県外では、廃校をコンビニや農産物直売所として利用し、地域活性化を行っているところがある。広船には志賀坊もあるので、子どもたちの自然体験学習ができないかといった意見がある。地理的表示の場合、他市町村との違いがはっきりわかるようにしなければブランド化できない。

○子育て支援について

(市民からの要望・質問)

2人目の子どもから保育料無料化としているが、1人しかできない人もいる。晩婚化で2人以上産む人も少なくなっている。保育料は1人目から3割減、2人目から7割減とするような制度の方がいいのではないか。

(市の回答)

・2人目から保育料無料化としたのは、県の特定出生率(1.41人)より市の特定出生率(1.28人)が低いので、2人目の負担を少なくすることで出産を促せるようにした。1人目からの支援は財政に負担がかかるため難しい。

○農機具購入の補助について

(市民からの要望・質問)

6次産業に対する補助金等はあるが、生産団体にはスプレーヤーやコンバイン等の購入に対する補助がない。認定農家には人・農地プランの補助がある。旧平賀町時代は補助があり、共防連で資金を貯めていた。

このままでは組織が弱体化する。国から補助金があれば使いたいと思い農林課へ行っても「(農機具購入の補助は)何もない」と言われる。国の補助をすべて使わず終わっているのではないか。自力ですべて購入するのは苦しいので、農機具購入に対する補助を要望したい。

(市の回答)

・かつて機械購入に対する支援をしていたのは、生産組合で農業機械を購入後、新たに買い替えるまでの間に購入費用を蓄えてほしいという意味合いである。県と連携し、国に地域の実情を伝えたい。

・米については、米余りなうえに4年後の減反政策もある。県で減反政策を行った際に地域選択制農政をし、県南農家は畑作に転向した。今は県南農家の方が収入が多い。

○雪対策モデル事業について

(市民からの要望・質問)

雪対策モデル事業は、去年は使いにくかったが、今年は内容を改善してまたやるのか。広船ではタイヤショベルを持っている人が、ボランティアで除排雪している。高齢者の屋根の雪下ろしは隣近所や親せき以外にもタイヤショベルを持っている方がやってくれている。排雪に限らず、その人たちに使える補助があればいい。

(市の回答)

- ・屋根の雪下ろしがなくなり、モデル事業として7町会（向陽、荒田、館田、平成、新山、八幡崎、仲町）が参加している。今年度はもう事業が始まっているので様子をみたい。
- ・排雪にかかる費用が5万円まで、スコップなどの準備費や燃料費が2万円、従事される方の保険料が3千円で、1町会あたりの限度額が73,000円である。
- ・このほか、社協で軽自動車のダンプを貸し出している。
- ・一人暮らしの高齢者が増えるので、できれば町会内のボランティアでやってほしい。経費はコミュニティ補助事業を使うなど臨機応変に対応してほしい。
- ・今年是一回排雪し、集会所前の雪についても全部ではないが行っている。

○行政委員連絡会議について

(市民からの要望・質問)

行政委員連絡会議で各部長の説明に時間がかかる。必要なことは資料に記載してほしい。記載していること以外も話すので時間がかかると思う。

(市の回答)

- ・必要なことは資料に記載しているが、簡単な説明を心がける。(1分以内の説明をするようにしている)

○カーブミラーの設置について

(市民からの要望・質問)

小笠原精肉店の十文字だが、ゲートボール場方面から来ると福寿会館方面から来る車がカーブで見えない。カーブミラーの設置をお願いしたい。

(市の回答)

- ・現場確認する。

○水路について

(市民からの要望・質問)

用心畑方面から流れる水路が、外川さん宅を過ぎると元の水路になる。カーブしているためゲリラ豪雨の場合、水を飲みきれずまっすぐ流れてしまう。カーブをつけないように水路を直してほしい。

(市民からの要望・質問)

去年の秋に土木課職員と町会三役と一緒に現場（広船川出口～用心畑方面）を確認した。水路がカーブしていることもあるが、ゲリラ豪雨の際広船川の水位が上がり、用心畑からの流れが隠れてしまうことが一番の原因だと思う。広船川は市の管轄ではないので、すぐに回答は出せないだろうと言われた。

(市の回答)

- ・町会要望で出され、現場を確認した。小笠原さん宅の所であふれることと、広船川の水

位が上がれば、用心畑の水路からの水を飲めないことも原因だろう。

(市民からの要望・質問)

広船川よりも高い所から水が入るようにすればいいのではないかと思う。水路が曲がっていることも原因だが、まっすぐにしても根本的な解決とはならないようだ。

(市の回答)

- ・土手へ穴をあけるとなれば、広船川は国の管轄なので厳しい。経費もかかるだろう。
- ・水路の下流の方をまっすぐにする予算がつく予定。当初、事業費がもっとかかる予定だったが、担当課で確認したところ、もっといい方法があったので減額したということだった。町会の方と話しあったかは不明である。

(市民からの要望・質問)

用心畑の水路の出口が広船川より下がっていることが原因なので、まっすぐにするだけではダメではないか。出口を広船川の河口へ近づけ、さらにまっすぐにすればいいと思う。

(市の回答)

- ・町会要望で出されていた側溝整備のことだが、融雪溝を設置してもそのやり方に協力しない人がいる。通りの人たちが幅の広い融雪溝的な水路を要望するのか、今のままでこからでも雪を捨てられるようにすればいいのか意見をまとめてほしい。

(市民からの要望・質問)

土木課では、側溝を広げて所々にグレーチングをつけるとしていた。

これまでに融雪溝を設置したところは、下流の園地から水があふれると苦情がきている。

(市の回答)

- ・今、雪を捨てている人たちが困るとか、今のままでいいという意見はないか。
- ・町会長や地域住民からの要望があり本町の融雪溝を設置したが、水を水路からくみ上げポンプアップする電気料について何も聞いていないという人や融雪溝管理組合に入らない人がいた。そうなる困るので、受益者と話しあって良ければ着工したい。検討してほしい。

○平賀東小学校建て替えについて

(市民からの要望・質問)

平賀東小の新築について、予算はどうなっているのか。

(市の回答)

- ・予算はこれからとなる。新校舎は3階建てになる。平成27年に実施設計し、平成28～29年の2年間で校舎を建て、平成30年4月から利用できる。今のグラウンドや体育館を使える状態にしながら校舎を建て替えるとすれば、敷地は制約が出るだろう。

(市民からの要望・質問)

生徒数はどれくらいと想定しているのか。

(市の回答)

- ・今の生徒数(223人)と将来の生徒数(10年後約200人)を考え、教室の広さや数が決まることになる。将来は1学年1クラスになると思われるが、1学年2クラスまで授業できるような教室の配置を想定する。今のところ想定していないが、子どもが少なくなれば学校再編も考えられる。

(市民からの要望・質問)

竹館小の現在と将来の生徒数は。今の平賀東小の改築は、竹館小の生徒数も含めて考えてはどうか。

(市の回答)

- ・竹館小の生徒数は120人なので1学年20人程度である。新校舎は、仮に竹館小と平賀東小が統合しても、1学年2クラスできるよう教室数を確保している。現在、統合の話はない。今後統合するかどうかは地域住民や保護者の選択となる。教育委員会としては、どちらでも対応可能なように教室数を確保する。
- ・平成40年には竹館小の生徒数は70人位まで下がる。
- ・平賀東小のあと、猿賀小や小和森小等が改築・改修予定である。

○新庁舎について

(市民からの要望・質問)

新庁舎建設は、場所等どこまで決まっているのか。

(市の回答)

- ・現在の庁舎は、防災拠点として耐震化率が足りない。5階建てを耐震化するには18億円以上かかる試算だった。新庁舎については、庁舎のあり方等検討委員会で検討中であり、その報告を待ちたい。
- ・新庁舎の基本となるのは、①耐震化をクリアしていること ②階段が高齢者等にとって不便なので、その対応を考えること ③1箇所ですべてが足せるワンストップサービスができることである。
- ・健康センターや尾上分庁舎の部署をどうするかが決まらなければ、建物の大きさや場所も決まらない。候補地は、旧平川診療所一帯という案や商工会の辺りという案がある。

○市の商工業について

(市民からの要望・質問)

平賀駅前のコープ平賀店が閉店することになったが、市の対応は。

(市の回答)

- ・ コープ平賀店があることで、近隣の高齢者が買い物難民にならずに済んでいるが、撤退せざるを得ないのであれば対応しようがない。閉店後に新しい店が入るかどうかは、まだわからない。将来を考えれば、高齢者が歩いて行ける範囲に店があるのが望ましい。
- ・ 平賀駅裏の宅地開発を考えた方がいいのか。子育て世帯の住宅取得費用の補助に 51 軒の申込があり、市外からの申込が 14 軒だった。
- ・ 現在は民間主導で用途変更して造成しているが、市で住宅団地を作ればいいという声もある。議会で駅裏の開発について話が合ったが、決めかねている。

(市民からの要望・質問)

松崎小の児童数は増えたのか。

(市の回答)

- ・ 新しい家が建っている所の児童が増えても、他町会の児童が減っているので学区全体で見ると若干減っている。

○空き家対策について

(市民からの要望・質問)

空き家対策はどうなっているか。広船には 11 軒ある。

(市の回答)

- ・ 3月議会に空き家対策の条例を出す予定である。空き家は全国的な問題である。現在、市では碓ヶ関地域 193 軒、平賀地域 142 軒、尾上地域 88 軒で計 423 軒の空き家を把握している。
- ・ 使える空き家は利活用する方向でいる。壊れた空き家で所有者と連絡がとれないようなところは、空き家といえども個人の財産なので手を付けられない。市で撤去すれば税金で費用を賄うことになる。
- ・ 建物があれば固定資産税が 6 分の 1 位だが、更地にすると元通りになり高くなるので、それについて国でも見直す動きだ。

(市民からの要望・質問)

地権者の了解を得て、空き家を雪置き場にできないか。所々に雪置場があれば、除雪業者も助かると思う。市で解体費用全額負担するのではなく、雪置場にしてもいいという条件を付したうえで、解体の優遇措置をすればいいのではないか。

(市の回答)

- ・ 全国的にそのような例がある。市が補助金を出して空き家を壊し、雪置場や駐車場にしているところがある。

○広船～唐竹の農道について

(市民からの要望・質問)

広船から唐竹への農道は路線ができていますが、地図に載っていない。測量して面積をだしているようだが、何年計画でやっていくのか。去年から測量しているが、今後も随時測量するのか。

(市の回答)

- 国調のズレがあり、登記のために測量している。登記漏れがあったので、再測量して直す方向でいると聞いている。尾上地域と平賀地域は国調を昭和 40 年代にやっているの
で、大幅にずれている。
- 登記漏れがある箇所だけ再測量すると聞いている。
- 拡幅する時に登記されていなかったところがある。平賀地域では、広船唐竹線と新屋荒
田線である。徐々に進めているので、ご協力願いたい。